

アートマネジメント講座



1. アートマネジメント基礎講座

回	日付	時間	会場	講師	テーマ	受講者数
1	7/7 (水)	18:00-21:00	名古屋市 公会堂4階 ホール	平田オリザ (劇作家、演出家、劇団 「青年団」主宰、大阪大 学コミュニケーション デザインセンター教授、 内閣官房参与)	地域における劇場の役割	121人
2	7/15 (木)	19:00-21:30	大リハーサル室	高萩宏 (東京芸術劇場副館長)	劇場法(仮称)について	133人
3	7/21 (水)	18:30-20:30	アーツスペース A	田村孝子 (静岡コンベンション アーツセンターグラン シップ館長、文化庁文化 審議会委員)	公立文化施設の意義とア ートマネージャー	100人
4	7/26 (月)	19:00-21:30	中リハーサル室	加藤種男 (アサヒビール芸術文 化財団事務局長、横浜 市創造都市アドバイザー、 東京都歴史文化財団エ グゼクティブ・アドバ イザー)	生きる力育む公共劇場	47人
5	12/9 (土)	18:30-20:30	アーツスペース A	津村卓 (北九州市芸術文化振 興財団 北九州芸術劇 場館長&チーフプロデ ューサー)	都市と地域と芸術文化の振 興(1) ～国内外の先行事例を交 えて	50人
6	12/21 (火)	18:30-20:30	アーツスペース A	森司 (東京文化発信プロジ ェクト室地域文化交流 推進担当課長・「東京ア ートポイント計画」ディ レクター)	理想的な劇場運営とは(1) ～自主事業とプロデュー サー型劇場運営	40人
7	1/12 (水)	19:00-21:00	中リハーサル室	渡辺弘 (彩の国さいたま芸術 劇場事業部長)	都市と地域と芸術文化の振 興(2) ～アートプロジェクトで 人・まち・活動を取り結 ぶ	78人
8	1/18 (火)	18:30-20:30	アーツスペース A	柴田英杞 (鳥取県文化振興財団 文化芸術デザイナー、滋 賀県文化振興事業団副 理事長、全国公立文化 施設協会アドバイザー)	理想的な劇場運営とは(2) ～国内の公立・民間の事 例を交えて	52人
9	1/24 (月)	19:00-21:00	中リハーサル室	吉本光宏 (ニッセイ基礎研究所 主席研究員・芸術文化 プロジェクト室長)	理想的な劇場運営とは(3) ～劇場、行政、地域をつ なぐアートマネジメント	48人
10	2/4 (金)	18:30-20:30	アーツスペース A		都市と地域と芸術文化の振 興(3) ～アートを起点とした都 市・地域再生に向けて一 国内外の事例を交えて	46人

2. アートマネジメント実践講座

コース	期間および日数	講師	受講者数
A 「長者町アートカフェプロジェクト」	7/20(火)～9/22(火)のうち15日間	上村祐一 (リズネット代表) 藤井明子	5人
B 「あいちトリエンナーレ2010 パフォーミング・アーツ 小ホール・大ホール公演及びワークショップ 現場体験」	劇場公演： 8/25(水)～10/31(日)のうち38日間 ワークショップ： 8/25(水)～27(金)の3日間	劇場公演： 山口佳子 (あいちトリエンナーレ 2010 アシスタントキュレーター、NPO法人アルファルファ代表)、岩佐暁子 (あいちトリエンナーレ 2010 アシスタントキュレーター)、唐津絵理 ワークショップ： 長谷川公次郎 (C.T.T名古屋事務局員)	5人 (劇場公演：4人 ワークショップ：1人)
C 「あいちトリエンナーレ2010 パフォーミング・アーツ まちなか公演 現場体験」	8/14(土)～9/20(月・祝)のうち10日間	藤井明子	2人
D 「パフォーミング・アーツ広報体験」	8/16(月)～10/31(日)	亀田恵子 (Arts&Theater→Literacy 代表、舞踊ライター)	15人
E 「ショーイングイベント・「パフォーミング・アーツ・ガーデン 2011」プロジェクト」	10/5(火)～3/1(火)のうち24日間	上村祐一 (リズネット代表) 藤井明子、唐津絵理	8人

3. インターンシップの受入

コース	期間および日数	講師	受講者数
舞台技術研修	9/14(火)～19(日) (5日間)	酒井透 (愛知芸術文化センター愛知県舞台運営事業協同組合スタッフ総括責任者)、森下勝史 (愛知県舞台運営事業協同組合 劇場管理運営技術者)	2人
アートマネジメント研修	9/7(火)～12(日) (5日間)	岩佐暁子 (あいちトリエンナーレ 2010 アシスタントキュレーター)、唐津絵理	2人

基礎講座はあいちトリエンナーレ 2010 の前後に分けて開催した。劇場を拠点としたアートマネジメント全般のあり方について、基本的な考え方や現状、可能性、問題点などでいくつかのテーマを掲げ、現場の最前線にいる方を講師に迎え、話をしていただいた。テーマは、前半は「劇場法 (仮称)」制定の動きに関連した理想的な劇場のあり方について、後半は「劇場を拠点とした都市と地域と芸術文化の振興」、[理想的な劇場運営]の大きく2つとした。

実践講座は5つのコースを開催し、あいちトリエンナーレ 2010 や文化情報センターの事業を体験事業とした。